

「わかる授業」実践に向けての授業改善プラン

令和4年度 府中市立府中第十中学校

教科名 技術・家庭科【技術分野】

	「学びに向かう力等を育む」視点での現状と課題 (「本校の第1回授業評価アンケート結果」を踏まえて)	現状の課題を改善するための具体的方策	授業改善の評価方法	取り組みの修正点 (第2回生徒アンケートを踏まえて)	まとめ 成果と課題
1年	<p><現状></p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートからその日の学習ポイントが押さえられていない生徒がいる。 体験的な学習を行うことで生徒の授業への取り組み姿勢を向上させることができた。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 工具の使い方や技法を具体的にイメージできない生徒への指導方法 生徒のICTスキル向上 	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクタを使用して、授業内容の補足や資料提示(映像資料等)を行う。また、黒板にわかりやすく今日のめあてを示す。 作業動画や書画カメラで作業の様子をプロジェクタで投影し、視覚的にイメージしやすい説明を行う。 導入で前時の復習、終末でおさらいを行い、知識の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 制作品 定期考査 授業評価アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> 実技について、繰り返し同じ作業に取り組む時間を確保し、基本技術の定着を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業評価アンケートから、どの項目でも改善が見られた。 引き続きICT機器を活用した作業説明を工夫しながら実践していく。 情報の時間が少なく、生徒のICTスキル向上には学習計画の見直しが必要である。
2年	<p><現状></p> <ul style="list-style-type: none"> エネルギー変換(電気分野)では、はんだづけの知識と技能について学び深めることができた。 アンケートから教材・教具について、より学びやすい工夫が必要だと読み取れる。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 細かい作業(はんだづけ)の具体的な操作手順、注意事項をうまくイメージできていない生徒への対応 生徒のタブレットPCの活用スキルの向上 	<ul style="list-style-type: none"> 工具使用で細かい技能を伝えるために、書画カメラや動画教材を使用して生徒に示す。 普段の授業からタブレットPCを使用する。互いにタブレットPCの使い方を教えあう時間を取り、理解を深めさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 制作品 定期考査 授業評価アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> レポート制作は、タブレットで行い、育成したダイコンの写真を貼り付けるようにした。制作しやすい課題とすることで提出状況が改善した。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業評価アンケートの結果から、ICT機器を活用し、生徒にとってわかりやすく、取り組みやすい授業が実践できたと考えられる。
3年	<p><現状></p> <ul style="list-style-type: none"> エネルギー変換(機械分野)では授業時間が確保できず、短時間での説明となり理解を深めることができなかった。 PCの活用スキルは全体的に定着している。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> プログラムの作成、検証の時間が十分には確保できない。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画を見直し、体験学習に取り組める時間を確保する。 生徒同士で教えあう活動の時間を取り、プログラムの作成、検証を個人だけではなく協働的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 制作品 定期考査 授業評価アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> 3年間の情報の学習を対象とした、今後の社会における情報技術の活用をテーマにしたレポートを出題し、ICTに関する考えを深めさせた。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業評価アンケートから生徒の理解度は高まっていると読み取れる。 プログラミング学習における協働的、対話的な授業展開の時間が十分に取れていないことが課題である。

「わかる授業」実践に向けての授業改善プラン

令和4年度 府中市立府中第十中学校

教科名 技術・家庭科【家庭分野】

	「学びに向かう力等を育む」視点での現状と課題 (「本校の第1回授業評価アンケート結果」を踏まえて)	現状の課題を改善するための具体的方策	授業改善の評価方法	取り組みの修正点 (第2回生徒アンケートを踏まえて)	まとめ 成果と課題
1年	<p><現状></p> <ul style="list-style-type: none"> 身近なものから興味を持たせ、体験的な活動を毎授業で行っている。 食事大切さや栄養素など、日々の生活を振り返り、関心を持って学習することができた。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 時間内に作業が終わらない生徒がいる。 持ち物忘れがあり、授業が進まないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭での食生活に活かすよう指導する為に、生徒の発表の場を設け、様々な考え方を知り学びを深める。 目標を明示して、作品を計画的に取り組めるようにする。 class room を活用し、動画やワークシートを配布する。作業の中で随時確認できるようにしておくことで、生徒の学習意欲や理解度の低下しないように努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 製作品 定期考査 授業評価アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> 作品製作の授業では class room にて動画や資料を配布し、活用しながら製作を進めることができ、授業の理解度も高まった。 調べ学習においてタブレットの活用機会を設け、ICT の活用と生徒の学習意欲を高めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いや発表での活発な活動が見られ、食品と栄養バランスについての理解が深まったと考えられる。 毎回の授業において、題材の目標を明確に示していく。
2年	<p><現状></p> <ul style="list-style-type: none"> 色彩や和服の文化など様々な教材を用いて授業を行い、興味を持たせるための工夫をしたが、自分の衣生活に関心のない生徒が多い。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ミシン等道具の使い方を理解できていない生徒が多いため、作業時間が少なくなってしまう。 『学習内容が分かりやすい』と回答した生徒が58%であり、理解度が低かった。 	<ul style="list-style-type: none"> class room を活用し、動画やワークシートを配布する。作業の中で随時確認できるようにしておくことで、生徒の学習意欲や理解度の低下しないように努める。 グループで協力して製作するように促す。遅れている生徒へ助言し、進み早い生徒にはより良い作品づくりができるよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 製作品 定期考査 授業評価アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> 作品製作の授業では class room にて動画や資料を配布し、活用しながら製作を進めることができ、作業内容の理解を深めた。 調べ学習においてタブレットの活用機会を設け、ICT の活用と生徒の学習意欲を高めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 作品製作の授業の際は意欲的に取り組むことができていたが、座学における学ぶ姿勢を向上させる工夫が不十分であった。 製作の際ミシンの不具合によりスムーズに作業できず、生徒の学習意欲を損ねてしまった為、メンテナンスや事前の準備をしっかり行う。
3年	<p><現状></p> <ul style="list-style-type: none"> 家族の役割と幼児の生活について関心を持って学ぶことができた。 作品製作に対して意欲的に取り組むことができた。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人にかけられる指導時間が少ない点。 授業の中で生徒との対話が少ない点。 	<ul style="list-style-type: none"> 製作についての理解度を高めるため、class room を活用し、動画や資料の配布を行う。一人ひとりの生徒のつまづきを解消できるように努める。 班の生徒と教え合う・学び合うように促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 製作品 定期考査 授業評価アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> 作品製作の授業では class room にて動画や資料を配布し、活用しながら製作を進めることができ、作業内容の理解を深めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 作品製作の授業では意欲的に取り組むことができており、授業アンケートの結果から理解度が高まったと考えられる。 座学の授業において、グループワーク等の学び合う時間を十分に取れなかった。